



「飲酒運転させないTOKYOキャンペーン」

2019年の実施計画決まる

期間は7月1日から7日間

東 京都は5月27日、東京・新宿区西新宿の都庁第一本庁舎で「飲酒運転させないTOKYOキャンペーン推進委員会幹事会」=写真=を開き、2019年の実施計画などを決めた。それによると、夏季になるとレジャーや夏の解放感から飲酒の機会が多くなり、飲酒運転に起因する交通事故の多発が懸念されることから、従来と同様に7月にキャンペーンを実施することにした。

この日の推進委員会では、まず都庁の高野豪・都民安全推進本部治安対策担当部長が挨拶した。続いて警視庁から最近の飲酒事故の発生状況などが説明され、その後、事務局から令和元年のキャンペーンは7月1日からの7日間とし、2日に東京・有楽町駅前広場でイベントを行うことが報告された。

飲酒運転をさせない社会環境の醸成と、飲酒運転

令和元年「春の叙勲・褒章」

旭日大綬章

元石油連盟会長の木村康氏はじめ
当会議所関係者多数が受章

令和初めての春の叙勲ならびに褒章で、日本自動車会議所の会員団体・企業関係の方々が多数、晴れの荣誉に輝かれた。

叙勲では、元石油連盟会長の木村康氏が旭日大綬章を、元日本自動車整備振興会連合会会長の橋本一豊氏が旭日中綬章を、青森県自動車団体連合会副会長の熊谷正志氏が旭日小綬章を、自動車検査登録情報協会副理事長の中山寛治氏が瑞宝中綬章を、全国レンタカー協会専務理事の甲田秀久氏が瑞宝双光章を受章された。

褒章では元トヨタ自動車副社長でITS Japan会長の佐々木眞一氏が藍綬褒章を受章された。

根絶気運のさらなる定着を図るため、キャンペーンに参加する商工会や酒類販売業、ホテル業界、飲食店などもステッカーやシールを掲示して運動を盛り上げる。

〔東京都自動車会議所〕

新 会 員 紹 介

■日本水素ステーションネットワーク合同会社

オールジャパンで水素ステーション（ST）の整備を推進する会社。FCV需要を最大化する水素ステーションネットワークを構築するため、水素ステーション事業者、自動車会社、金融投資家等が連携する、世界初の取り組み。

【代表者】

代表社員職務執行者（社長） 菅原 英喜氏

【本社所在地】

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-18
トヨタ九段ビル

【資本金】5,000万円

【設 立】2018年2月20日

【参画企業】23社（6月1日現在）

【事業内容】

◇水素ステーションの戦略的な整備

- ・2021年度までに新たに80カ所の水素STを整備
- ・四大都市圏とそれを結ぶ地域から整備地域を拡大
- ・さらに47都道府県へ水素ST整備を目指す

◇水素ステーションの効率的な運営への貢献

- ・規制見直し、機器の標準化等を通じたSTのコストダウン（投資額、運営費）
- ・FCV普及に応じた営業日、営業時間の拡大などのお客様利便性向上活動

【事業期間】2018年4月～2027年3月

- ・第Ⅰ期 2018～2021年度
- ・第Ⅱ期 2022～2027年度

【英 名】Japan H2 Mobility,LLC

略称：JHyM（ジェイハイム）

【コーポレートサイト】<https://www.jhym.co.jp>

日本自動車会議所 理事・総務担当に橋本 勝也氏

5月28日に開催された日本自動車会議所の第85回定時総会で、小林義信理事の退任に伴い、トヨタ自動車(株)社会貢献推進部総括グループ主幹の橋本勝也氏が理事に就任した。前任者の小林氏は6月1日付でトヨタ自動車(株)に帰任した。



橋本 勝也 (はしもと・かつや) 氏 略歴

1986年4月トヨタ自動車(株)入社。同年11月C80推進室(1990年2月に営業システム部に名称変更)に配属され、その後、1994年1月商品企画部、2000年1月宣伝部広告室、2003年1月渉外部第2渉外室、2009年1月社会貢献推進部総括室、2018年1月同部共生社会支援室などを経て、2019年5月当会議所の理事・総務担当に就任。兵庫県出身、55歳。

[日本自動車会議所ホームページ](#)
[新着情報ランキング\(2019.5/1～5/31\)](#)
[Google アナリティクスより](#)

	ページタイトル	ページビュー数
1	国交省、新たにエーミング作業も分解整備の定義に追加	1,106
2	国交省、自動運転システム整備に認証制度を新設へ 名称「特定整備」に	1,104
3	国交省、「特定整備」の不安解消 事業継続の選択肢用意	800
4	警察庁、昨年の交通事故 自動ブレーキ普及で追突が目立って減少	632
5	筑波サーキット・カーフェスティバル2019、5月5日こどもの日に開催、女性のための「Car Cafe(カーカフェ)」同時開催	567
6	欧州のCO ₂ 排出規制強化、対応迫られる日系各社	550
7	国交省、車検証をICカードに22年度中に切り替え	530
8	パナソニック、2021年度に向けた車載事業の中期戦略を発表	528
9	自動ブレーキ普及加速、昨年の装着率9割前後	518
10	OBD車検、エーミング未実施は不合格 スキャンツール機能拡充が不可避	298
11	ト販協、新体制発足 理事長に横田氏(群馬トヨタ社長)	286
12	国もEDR搭載の義務付け方針を打ち出す、事故時の責任を速やかに特定	283
13	軽量化の有力技術、進化するマルチマテリアル	282
14	軽検協、OS開始を延期 省令の改正作業に遅れ	258
15	新たなビジネスモデルの構築をトヨタモビリティ東京が船出	258
16	自技会 人とくるまのテクノロジー展2019 横浜 一般受付開始のお知らせ 4月15日(月)～	250
17	国交省 輸送安全規則を一部改正 乗務記録に荷役作業に関する内容を追加	236
18	原付二種免許、最短2日で警察庁が規制緩和、二輪業界は歓迎	226
19	自技会 2019年春季大会を開催	222
20	金型代金、実態は中企庁など部品メーカー調査へ	215
21	高校生ものづくりコンテスト全国大会、将来のスペシャリスト育成	206
22	国交省、ホワイト物流の推進体制構築 長時間労働を是正	201
23	経産省 消費増税時のポイント還元、自動車ユーザーにも恩典	155
	総数(24番目以降も含む)	42,413

訃

当会議所元副会長

日本自動車販売協会連合会元会長

日本自動車連盟前会長

NTPホールディングス会長

小栗 七生氏

当会議所元副会長で、日本自動車販売協会連合会、日本自動車連盟(JAF)で会長を務められた小栗七生氏が5月22日、逝去された。83歳だった。

小栗氏は1965年4月名古屋トヨペットに入社し、車輛部長などを経て、1986年11月社長、2009年6月会長に就任。2010年6月からは名古屋トヨペットを傘下に持つNTPホールディングスの会長も務められていた。

小栗氏は経営の傍ら、多くの公職にも就かれた。社長

報

時代の2004年2月～2008年2月まで自販連会長を、また自販連会長として2004年6月から当会議所副会長も務められ、2008年6月に退任された。2012年6月～2016年6月までJAF会長、1993年6月から逝去されるまで愛知県自動車会議所副会長も務められていた。



三菱自動車販売協会会長

(当会議所会員代表者)

三浦 潔氏

三菱自動車販売協会会長の三浦潔氏が5月29日、逝去された。66歳だった。三浦氏は秋田県全自動車協会で評議員も務められていた。